

日本における令和6年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



レイハラってなんだ？

人権意識の向上に伴って、さまざまなハラスメント（いやがらせ）が言われるようになりました。例えば、立場の強い人が弱い人に向かって言う、パワハラ。異性に向けて性的な嫌がらせをするセクハラ。言葉や態度で嫌がらせをする、モラハラ。消費者（カスタマー）による自己中心的で理不尽な要求によるカスハラ。妊娠している女性に対して嫌がらせを行うマタハラなどなど。

皆さんも日々の生活は人権チェックで振り返ってもらっていますが、知らず知らずのうちに嫌がらせをしている人になっているかも？

そんな中、こんなハラスメントがあることが新聞で報道されていました。

『ハーフなのに、なんで英語しゃべれないの？』『ハーフなのに、運動神経悪くて、もったいない』『日本人だからわかるよね』等。

さて、このハラスメントは、どんな人に対することかわかりましたか？

外国人労働者の受け入れや、日本に住む外国人が拡大する中、**人種や民族、国籍を理由とした配慮を欠く言動のこと**を『レイシャルハラスメント（レイハラ）』と呼ぶそうです。

（レイシャル＝人種に関することから）

次のようなことがレイハラにあたるそうです。自分の日々の言動を振り返り、より人権意識の高い人を目指していきましょう。

- ①その場に日本人しかいないことを前提にした会話をする。
- ②身体的、文化的特徴を否定したり、からかったりする。
- ③ルーツ（祖先）の国や、人種について、代表者であるかのように扱う。
- ④仕事上の成功やミスなどを、人種や国籍に結び付けて評価する。
- ⑤『中国人は嫌い』のように、特定の民族や国に対する否定的、攻撃的言動をする。

人権問題は、まずは知ることが大切です。皆さんもしっかり知って、差別などをしない素敵な人に成長してくださいね。